

詩の部

棚田

高橋 けん一

春の朝

小山内 トモ子

またたび酒効くの効かぬとちゃんちゃんこ

さわやかな
カッコウの声で目ざめ
今日と云う日の
一日が始まる

石ひとつどけて棚田の水落す

ヨシキリ、スズメ、カラスも

恋敵ひとつ年上力草

にぎやかに起き出し
合唱している

どこか遠くで、ニワトリも

いわし雲風合瀬の沖は韓の国

朝だと叫んでいる

朝食の仕たくを

胸出せば少女の匂ひ赤い羽根

しながら 私は

二階に向かって起きると

叫んでいる

文芸らん

寄稿

夢

折戸谷 勉

折戸谷 勉

火事ダー、火事ダー、どこ火事ダバー

新寺町の豚小屋火事ダー 豚の尻丸焼ダー

小便ポンプ、ぶつかける 婆様お前立って見でないで

爺様お前ボケだのが、頭少しおかしくなったではないが

男子供産むことできるかい、やって見る

新寺町の杉の芯子さ、雀止まってる

四万四千四百四十四羽止まってる

巢喰って止まってる

朝起きて眼を開けたら夢でした

立ちづくす(相撲甚句)

雲にそびえる岩木山、陸奥の国では八甲田山

お江戸で名高い愛宕山、京都で名高い東山

三國一の富士の山、噴火で名高い浅間山、心中で不名誉な
浅間山

天狗の出たのが鞍馬山、鬼の出たのが大江山

昔紫前松浦で加藤左エ門重成の、忘れ形見の石動丸が父を
訪ねて高野山

大阪落城のその時に、木村・片桐の両将が、駒の別れが茶
白山

吉良の仁吉や国定忠治、喧嘩で男を売ったのは、荒神山や
赤城山。

相撲で名高い常陸山。大正時代では大刀山・杉木山
昭和で無敵な双葉山、これ程の山を語ったならば、一つ位
は忘れるなよ、どうぞ宜しくお願い申し上げます

金木町文化賞（功労賞）受賞す

— 山中長三郎氏、秋元惣之進氏 —

平成十年三月十一日、わがふるさとを探る会、会員、山中長三郎、秋元惣之進両氏は、永年に亘り、金木町の史跡・歴史の調査研究活動を続け、その記録を発表し、金木町の歴史文化に貢献してきたことを認められ、金木町文化賞（功労賞）を受賞した。尚、この祝賀会は平成十二年六月十六日「奥津軽」に於いて盛大に催された。

山中 長三郎…



秋元 惣之進…



津軽弁 村の笑い話」

「名 医」

患者「先生、舌が痛くてご飯が喰べられないんです。」
 医者「どれどれ、ペロを出してごらん。——うーん。赤くただれてしまっているね。これはひどい……。」「
 患者「なんとかありませんか？……。」「
 医者「それじゃ、政治家になりなさい。」「

(やぶ野 竹林)

津軽弁 村の笑い話」

「チーン」

孫娘「おじいちゃん、おかず買ってきたから食べてね。チーンするだけで簡単だから、便利になったわネ。」
 祖父「ありがとう。——でも、チーンするだけと言ってもワシは仏様のまえでチーンするのはできるが……。世の中便利になるほどワシらには不便だよ。……」

(やぶ野 竹林)

わがふるさとを探る会二十年の歩み

年月日

総会、歴史探訪、講演会、講師、発行等

52 4・28	嘉瀬ふるさとを探る会結成、第一回総会 会長に山中正津氏選任
5 5・28	「嘉瀬十年」の語源について研究会
6 6・25	嘉瀬旧道、嘉瀬城跡実地踏査
7 7・30	嘉瀬八幡宮最興の棟札等調査
8 8・20	村内神社踏査
8 8・27	村内遺跡踏査
9 9・10	村内旧道実地踏査
9 9・17	村内お寺墓地散策
12 12・28	村内史跡調査資料による研修会 講師 佐野洪氏
53 4・19	人丸神石金木伏見宅庭より嘉瀬八幡宮へ移転す
5 5・13	第二回定期総会
6 6・30	人丸神石の敷地整備、石段工事行方
7 7・8	中柏木「うもれ木」実地調査
8 8・6	津軽半島安東史跡巡り（福島城、唐川城、日吉神社、湊迎寺、柴崎城）
12 12・9	嘉瀬薬師神社の還状列石調査
12 12・29	弘前地区史跡巡り（景勝院、長勝寺、誓願寺、革秀寺、巖鬼神社、大石神社）
54 4・21	第三回定期総会
8 8・11	村内イゴグ穴の実地踏査 四ヶ所
8 8・17	浪岡地区史跡巡り（浪岡城、北畠家墓所等）

年月日	総会、歴史探訪、講演会、講師、発行等
55・11・30	営林署より丸太払下げ史跡等に標柱設置
55・12・28	中・弘前区史跡巡り（高杉中別所板碑、東照宮、誓願寺山門）
55・1・28	村内遺跡研究会 講師 佐野洪氏、木立民五郎氏
55・4・26	第四回定期総会
56・5・11	二つ森遺跡実地調査
56・4・29	第五回定期総会 会長に木村治利氏選任
56・6・1	「ふるさとのかたりべ」第一集発刊
56・8・1	中柏木城跡地散策
56・8・18	岩木山一周史跡巡り（亀ヶ岡考古館、大石神社、弘西林道、種里城跡）
56・8・19	嘉瀬、川倉賽の川原地蔵尊散策
57・4・24	第六回定期総会
57・6・26	「ふるさとのかたりべ」第二集発刊
57・7・21	RAB「きょうのインタビュー」に木村治利氏
57・7・24	中柏木・小栗崎神社基地調査
57・8・7	嘉瀬観音様山の遺跡散策（観音様、薬師堂、山の神堂）
57・8・20	尾上町・田舎館村遺跡巡り（青森入内石神、垂柳遺跡、五所川原平山家）
57・8・21	嘉瀬ねぶた愛好会と座談会
58・4・23	第七回定期総会
58・7・1	「ふるさとのかたりべ」第三集発刊
58・7・9	人丸神石遷座例祭施行 嘉瀬八幡宮
58・9・15	湯の沢地蔵・十二本ヤス実地踏査

年月日	総会、歴史探訪、講演会、講師、発行等
59・4・25	第八回定期総会
59・5・19	妙光庵史料調査
59・6・2	山中雄湖氏保存蔵書調査 明治―昭和山中家記録
59・6・10	ヤバ台城跡地探求 多々良沢一帯調査したが未発見
59・6・23	「郷土の歴史を探る」講演会 講師 平山久夫氏他
59・7・29	「イゴグ穴」無縁仏供養祭施行 於馬頭観音堂敷地
59・8・1	「ふるさとのかたりべ」第四集発刊
59・8・18	津軽半島史跡探訪（尾別宮越家家宝だるま大師他）
59・11・14	古い仏壇調査 原田文芳氏、木下俊蔵氏、沢田政孝氏、鳴海勲氏所有
60・4・12	講演会「昔の農村生活と年中行事」 講師 小館衷三氏
60・6・4	第九回定期総会
60・8・9	鳴海勲氏りんご園発掘調査 土師器等発見
60・8・10	八戸地区史跡巡り（岩手県浄法寺町天台寺、三戸城、八戸博物館、キリスト墓地）
60・12・14	年忘れ放談会
61・1・2	鬼子石像研究家加藤慶司氏と座談会 鎌田稻辰氏宅
61・2・15	「ふるさとのかたりべ」第五集発刊
61・4・17	第十回定期総会
61・7・26	秋田・岩手県史跡散策（是川遺跡、根城跡、櫛引八幡宮、岩手県天台寺、秋田県尾去沢、大湯ストーンサークル、階楽園）
61・9・21	嘉瀬水車小屋跡地調査
61・9・23	喜良市湯の沢実地調査（五所川原市飯詰石の塔沢、高楯城跡散策）
62・3・30	「ふるさとのかたりべ」第六集発刊

年月日	総会、歴史探訪、講演会、講師、発行等
4・21	第十一回定期総会 安倍・安東に係わる文化講演会
7・1	岩木山麓史跡巡り（木造町カルコ、森田村下相野、弘前市国吉板碑、赤倉神社、大石神社、巖鬼神社） RAB「黒川桃太郎」の取材 外崎三千男氏宅
9・20	金木町より褒賞状授与
12・14	「ふるさとのかたりべ」第七集発刊
3・25	第十二回定期総会
5・29	下北半島の歴史を尋ねて（東通村ヒバ埋没林、恐山、仏ヶ浦、安部城）
7・24	第十三回定期総会
元・6・5	「奴踊り記念碑」の整地、土盛り作業
7・2	青森小牧野遺跡探求（棟方志功館、弘前石羽家）
11・26	「ふるさとのかたりべ」第八集発刊
2・6・30	第十四回定期総会
9・1	小田川城柵復元工事と空堀に橋架け作業
3・4・24	第十五回定期総会
5・19	お城山に標柱建立
6・7	「北方児童文集発刊の集い」に山中正津氏、沢田薫氏出席
7・10	「わらび座」とのふれあいの旅（秋田県鹿角市わらび座本部、雫石、啄木記念館）
10・1	鹿角市生涯学習奨励員と懇談会 木村治利氏出席
4・4・7	「ふるさとのかたりべ」第九集発刊
4・22	第十六回定期総会

年月日	総会、歴史探訪、講演会、講師、発行等
10・19	嘉瀬商業会の郷土の歴史について 講師 山中正津氏
12・10	相馬村の歴史探求の旅（長慶天皇参考墓地、田舎館村垂柳）
5・4・26	第十七回定期総会
5・11	嘉瀬子ども会に村の史跡説明会
6・6・29	町教育研究会に嘉瀬の史跡について 講師 木村治利氏
7・1	「ふるさとのかたりべ」第十集発刊
8・12	第十八回定期総会
9・26	町教育研究会第二回社会部会に 講師 木村治利氏
7・9	三内丸山遺跡を遺す会に寄付（一〇〇〇〇円）
7・14	第十九回定期総会
8・11	町歴史学習会観音山と福の神 講師 木村治利氏
10・7	町歴史を知る会 十二本ヤス 講師 木村治利氏
8・1・9	RAB「かつさい青森」当会を取材
5・4・5	新潟大学教授大橋勝雄氏他二名 津軽弁調査に来訪
6・15	東北大学院生大橋純一郎氏 第二次津軽弁調査に来訪
7・16	「ふるさとのかたりべ」第十一集発刊
7・17	第二十回定期総会
9・14	津軽半島東海岸史跡巡り（今別町本覚寺、海雲洞、蟹田町観欄山）
9・21	嘉瀬奴踊り保存会と会合（NHK取材の件）
5・31	第二十一回定期総会（嘉瀬をわがふるさとに改正）
9・14	津軽半島西海岸史跡巡り（鯨ヶ沢町種里城、関の古碑、深浦町円覚寺）

9・17	太宰会に「金木町に疎開中の太宰治」 講師 山中正津氏
11・1	「ふるさとのかたりべ」第十二集発刊
10・4・22	ルポライター岩中佐智夫氏（東京都）来訪「金木町について」木村会長と会話
4・23	金木ライオンズクラブ会長田中良治氏より本会表彰受ける
7・12	第二十二回定期総会
7・30	黒石方面史跡巡り（浄仙寺、薬師寺、こけし館）
8・6	「嘉瀬郷倉事件」取材に講談社山本徹美氏来訪 岩村金致氏宅取材
10・1	同上事件写真撮影のため講談社但馬一憲氏来訪
10・31	「ふるさとのかたりべ」第十三集発刊
12・12	定例会と忘年会（反省会）
11・2・13	新年を語る会
6・1	コロンビア大学田中桜子氏「津軽の民族史と伝統医療」の調査研究に来訪 金木町の史跡 木村会長案内
6・3	県立図書館長鈴木健二氏との懇談会 木村会長出席
8・16	作家鎌田慧氏、祥伝社水無瀬尚氏「津軽斜陽館」取材に来訪
9・5	第二十三回定期総会 黒石市青荷温泉
9・12	黒石市の史跡散策を行なう
11・16	町公民館サークル交流会に参加 木村、山長、秋惣の各氏
11・30	作家鎌田慧氏「津軽斜陽館」取材のため再来訪 渋川正義氏、吉崎正光氏 山中長三郎氏、江良義秋氏、成田亀逸氏宅取材のため訪問。（木村会長案内） 「金木のかたりべ」第十四集発刊

津軽弁 村の笑い話

「横文字に弱い母親」

(一)

高校一年生の次男が夏休みに、ホームステイをして、アメリカで、留学することになりました。

母親は親戚や近所の人に

「おいの息子ば、アメリカカへホームレスにやるんず」と自慢げに、言いふらしていました。

(二)

エアロビクスの練習に出かけていた娘に、友達から電話がありました。横文字に弱い母親は、

「娘は今、アクロバットさ行ってるず」と答えていた。

(森平)

津軽弁 村の笑い話

「鯉の餌」

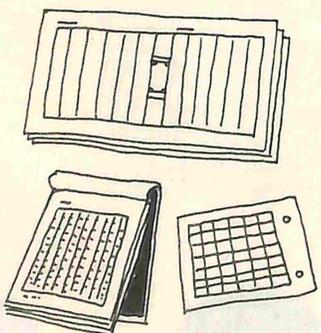
中学校の修学旅行は、金沢の兼六公園でした。

池には、沢山の錦鯉が群れをなして、泳いでいて、立札がありました。

「鯉の餌、十円」とありました。

それを見た生徒の一人、真顔で、十円玉を池に投げていました。

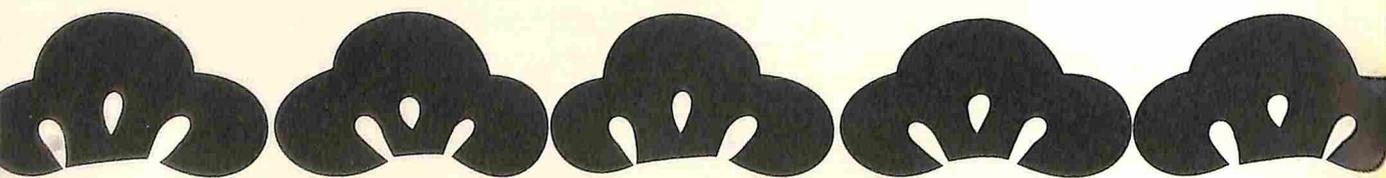
(森平)

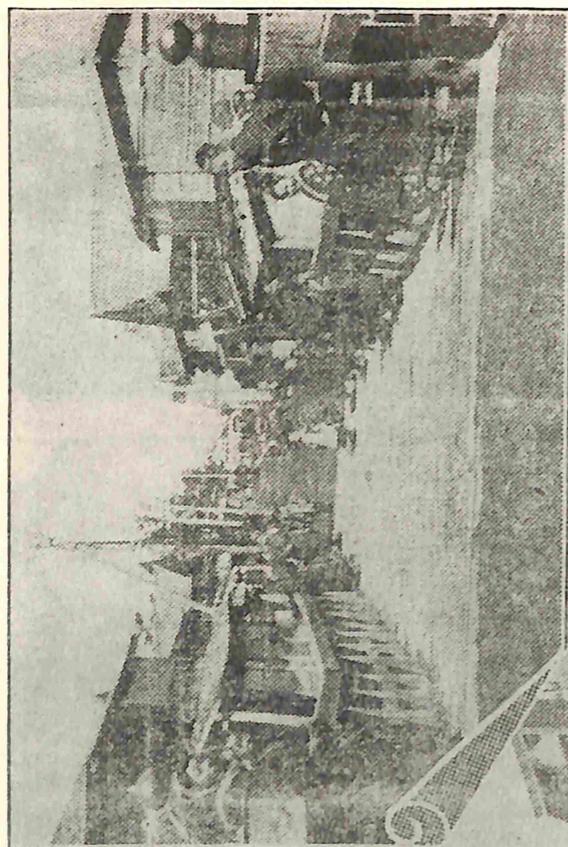


復刻版

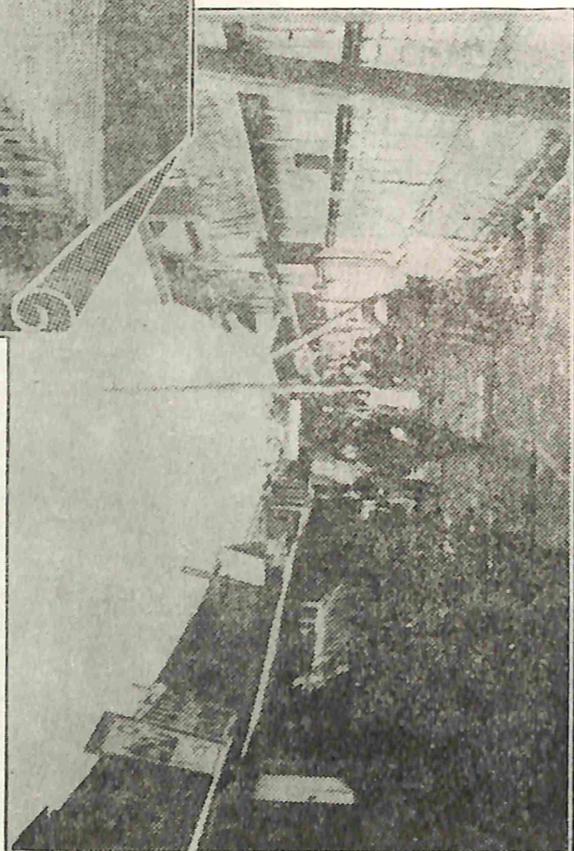
金

木

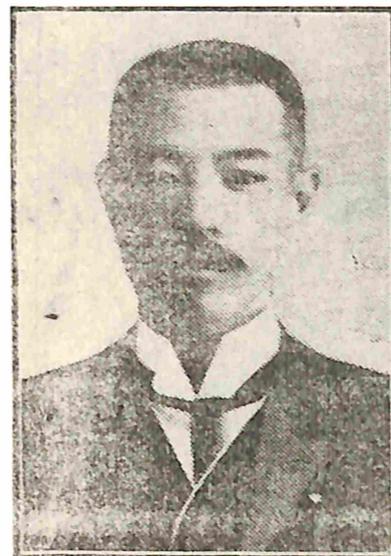




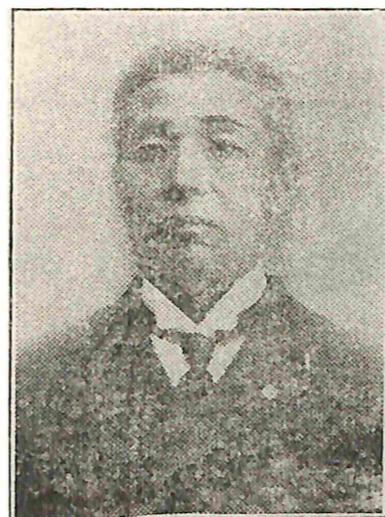
り通町本木金



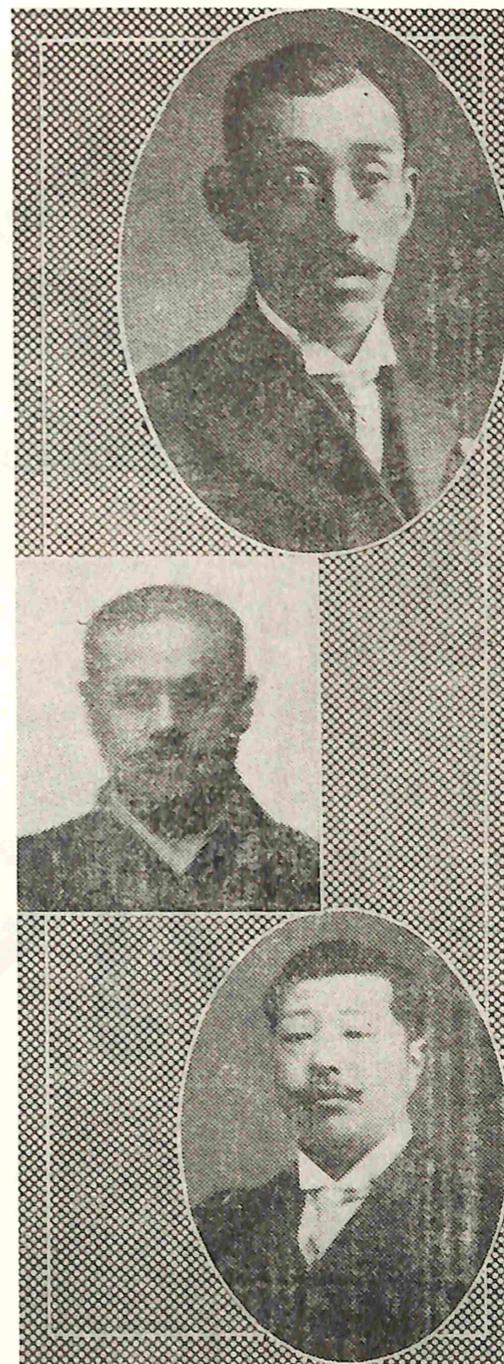
り通町川小全



氏門衛左彌橋高



氏吉豊藤伊



津嶋源右衛門氏

高橋良三郎氏

津嶋忠次郎氏